

# エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 1/7  
2011年12月30日現在

## 【ファンドの特色】

- ファンド・オブ・ファンズの形式により、主に投資信託証券に投資を行い、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。
  - ルクセンブルグ籍オープン・エンド型の米ドル建て外国投資法人である「SIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド」投資証券および証券投資信託である「SIMショートターム・マザー・ファンド」受益証券を主な投資対象とします。
  - 投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。
  - 決算は年1回、毎年5月23日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とし分配を行う事をめざします。
  - 当ファンドの外貨建て資産につきましては、為替ヘッジを原則として行いません。
  - 当ファンドの主要投資対象である現地通貨建てエマージング債券に投資するファンドは、ブルーベイ・アセット・マネジメント・リミテッドが運用します。
- ※ 資金動向、市場動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 【基準価額・純資産総額】

	2011/12/30	2011/11/30	前月比
基準価額	10,001円	10,055円	-54円
純資産総額	2.9億円	2.9億円	0.0億円

\*基準価額は1万口当たりとなっています。

## 【ファンドの騰落率(課税前分配金再投資)】

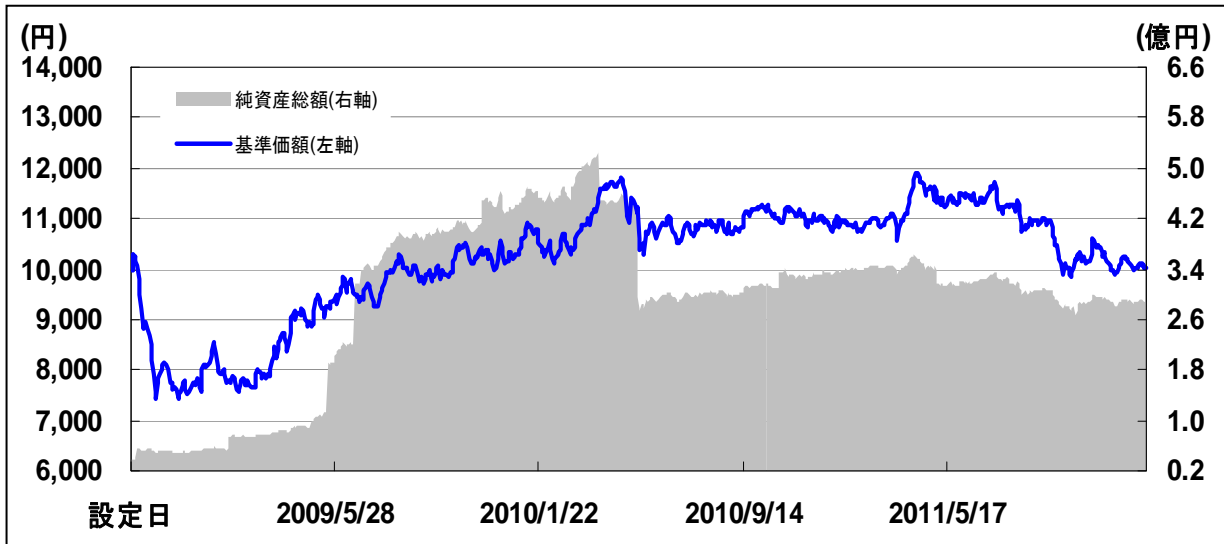
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.54%	-0.43%	-12.39%	-6.98%	22.86%	0.01%

\*騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後、課税前分配金再投資基準価額です。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

\*「課税前分配金再投資基準価額」とは、基準価額に各収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。

\*騰落率は各月末営業日で計算しています。(各月末が休業日の場合は前営業日の値で計算しています。)

## 【基準価額・純資産総額の推移】



- \* 基準価額は、信託報酬控除後、信託財産留保額控除前、課税前です。
- \* 投資先ファンドの運用管理費用を含めた実質的な信託報酬率は、純資産総額に対して年率1.95%程度(概算、税込み)です。詳細は、【お申込みメモ】の【信託財産に間接的にご負担いただく費用】の項目をご覧ください。
- \* 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 【分配金実績(1万口当たり、課税前)】

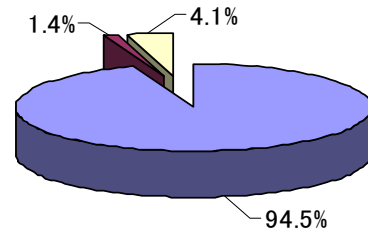
第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	合計
0円	0円	0円	—	—	0円

- \* 分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- \* 分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

## 【運用資産構成比率】

- SIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド
- SIMショートターム・マザー・ファンド

□ コール・ローン等



- \* 運用資産構成比率は純資産総額に対する評価額の割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- \* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

# エマージング・カレンシー・債券ファンド(1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

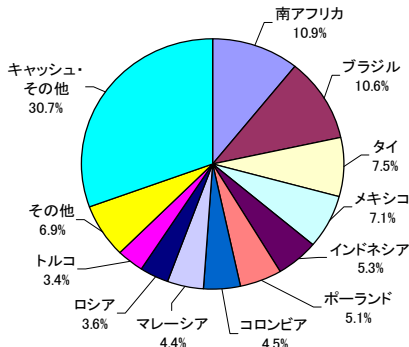
月次レポート 2/7  
2011年12月30日現在

## SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド

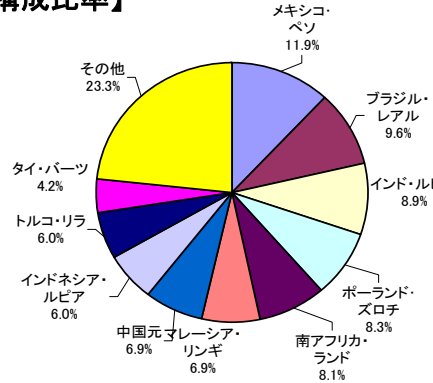
(ご注意) 以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるSIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドに関するものです。以下のデータはすべて現地月末最終営業日の数値を使用して算出しています。

また、インデックスに関する情報はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・モニター各月末基準のレポートを参考にしています。インデックスはJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)です。

### 【債券別構成比率】



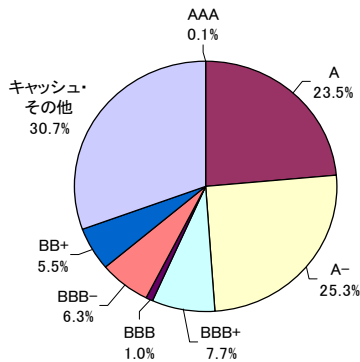
### 【通貨別構成比率】



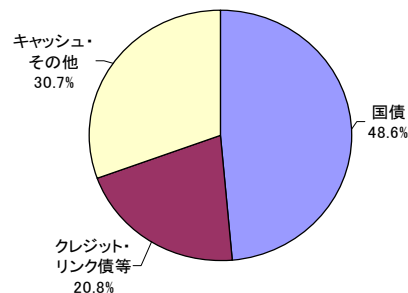
\* 債券別構成比は債券発行国をもとに算出しています。ポートフォリオ合計を100%とし債券の合計比率を除いた値をキャッシュ・その他としています。  
\* 債券別構成比はトータルリターンズスワップを含みます。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。  
\* 上位10カ国を記載し、それ以外はその他として集計しています。

\* 通貨別構成比は債券、キャッシュ、また為替のみのポジション、スワップ取引、オプション取引等も含めて算出しています。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。  
\* グラフには上位10通貨を記載し、それ以外の通貨はその他に含んでいます。  
\* 「その他」には、ロング・ポジションとショート・ポジションによるマイナス部分が相殺され含まれています(詳しくは3ページのポートフォリオ分析をご確認ください)。

### 【格付別構成比率】



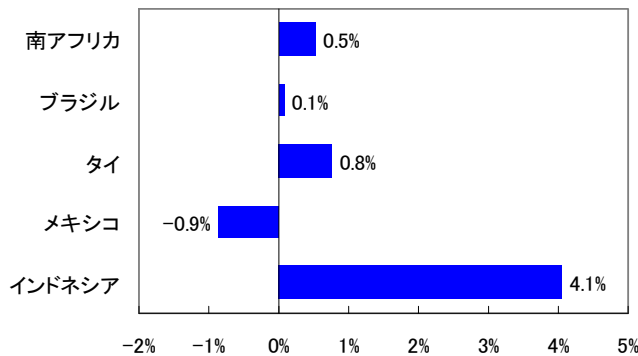
### 【種類別構成比率】



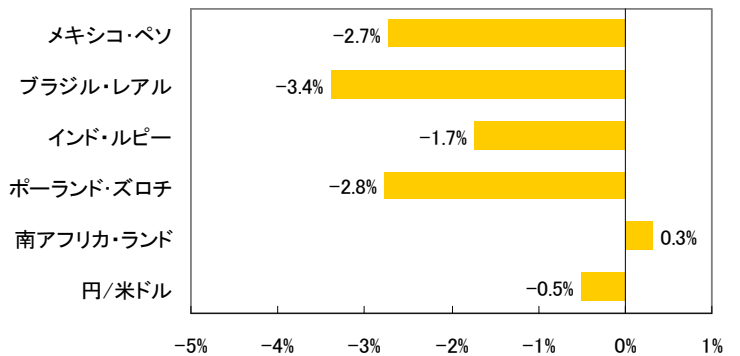
\* 格付けは債券発行体別にスタンダード・アンド・プアーズ社(S&P) 自国通貨建て長期債務格付けをもとに算出しています。  
\* S&Pで格付取得がない場合、Moody'sの格付けを参照しています。  
\* 為替のみのポジションはキャッシュ・その他に含みます。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

\* クレジット・リンク債とはエマージング諸国の国債や通貨等にパフォーマンスが運動する債券をいいます。  
\* クレジット・リンク債等の構成比にはトータル・リターン・スワップを含みます。  
\* 為替のみのポジションはキャッシュ・その他に含みます。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

### 【組入上位5カ国の債券市場騰落率】



### 【組入上位5通貨と円/米ドルの騰落率】



\* JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(現地通貨建て)の騰落率です。

\* 円/米ドルは投資協会レートをしています。  
\* 円/米ドル以外は、米ドルに対する騰落率で、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイドから算出しています。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

# エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

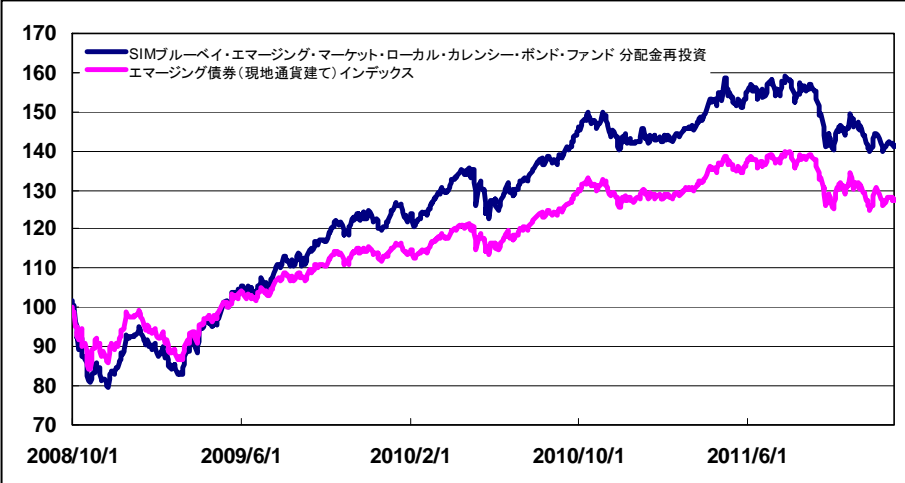
追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 3/7  
2011年12月30日現在

## SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド

(ご注意) 以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるSIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドに関するものです。以下のパフォーマンス、ポートフォリオ分析はすべて現地月末最終営業日の数値を使用しています。また、インデックスに関する情報はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・モニター各月末基準のレポートを参考にしています。インデックスはJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)です。

### 【投資対象となる外国投資信託の基準価額の推移】



\* 2008/10/1を100として指数化しています。

### 【投資先ファンドのポートフォリオ概要】

	ポートフォリオ	インデックス
組入銘柄数	50	287
平均格付け	A-	A-
平均直接利回り	4.94%	-
平均最終利回り	4.46%	6.45%
平均デュレーション	2.64	4.69

\* 組入銘柄数は債券の組入銘柄数です。  
\* 平均格付けは、基準日時点のファンドが保有する債券のものであり、ファンドに係る信用格付けではありません。  
\* 平均格付けは、債券発行国別にS&P自国通貨建て長期債務格付けをもとに算出した平均格付けです。格付けが取得不可能な銘柄につきましては、除いて算出した平均格付けです。  
\* 利回り、デュレーションの計算は委託会社の見解に基づいて行っています。  
\* 平均直接利回りは、各債券の直接利回りを加重平均しています。  
\* 平均最終利回りは、各債券最終利回りおよびキャッシュを加重平均しています。

### 【パフォーマンス】

	1ヶ月	設定来
ポートフォリオ	-1.12%	39.20%
インデックス	-0.81%	27.60%
超過収益率	-0.31%	11.60%

\* ポートフォリオは課税前分配金再投資の基準価額  
\* 設定日は2008年10月1日です。

### 【ポートフォリオの比較】(通貨別)

対インデックス比較			
オーバーウェイト		アンダーウェイト	
メキシコ	1.9%	ハンガリー	-3.5%
フィリピン	0.5%	ロシア	-3.3%
ペルー	0.2%	中国	-3.1%
イスラエル	0.02%	コロンビア	-2.2%
-	-	韓国	-1.6%

\* 対インデックスのウェイトは2012年1月2日現在です。

### 【ポートフォリオ分析】

国名	ポートフォリオのウェイト		インデックスのウェイト
	債券別	通貨別	
ペルー	1.3%	1.3%	1.1%
メキシコ	7.1%	11.9%	10.0%
チリ	-	1.5%	1.9%
コロンビア	4.5%	4.1%	6.3%
ブラジル	10.6%	9.6%	10.0%
<b>中南米地域</b>	<b>23.5%</b>	<b>28.4%</b>	<b>29.4%</b>
ハンガリー	0.4%	-0.5%	2.9%
ロシア	3.6%	1.0%	4.3%
ポーランド	5.1%	8.3%	9.8%
トルコ	3.4%	6.0%	6.4%
ルーマニア	0.7%	-0.4%	-
<b>東欧地域</b>	<b>13.1%</b>	<b>14.3%</b>	<b>23.4%</b>
マレーシア	4.4%	6.9%	7.4%
中国	-	6.9%	10.0%
タイ	7.5%	4.2%	4.3%
インドネシア	5.3%	6.0%	6.6%
インド	3.3%	8.9%	10.0%
フィリピン	1.2%	0.7%	0.3%
韓国	-	-1.6%	-
<b>アジア地域</b>	<b>21.8%</b>	<b>32.0%</b>	<b>38.6%</b>
南アフリカ	10.9%	8.1%	8.7%
イスラエル	-	0.02%	-
<b>中東・アフリカ地域</b>	<b>10.9%</b>	<b>8.1%</b>	<b>8.7%</b>
<b>米国</b>	<b>0.0%</b>	<b>17.2%</b>	<b>-</b>
<b>合計</b>	<b>69.3%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

\* ポートフォリオのウェイト、インデックスのウェイトは四捨五入の関係上必ずしも100%には限りません。  
\* 対インデックスのウェイトは2012年1月2日現在です。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、価値のある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみならず、みなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

## エマージング・カレンシー・債券ファンド(1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 4/7  
2011年12月30日現在

以下のコメントは、投資先ファンドの運用会社であるブルーベイ・アセット・マネジメント・リミテッドのコメントをもとにして作成したものです。また、下記の見通しは当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合がありますのでご注意ください。

(ご注意)以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるSIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドに関するものです。以下のパフォーマンス、ポートフォリオ分析はすべて現地月末最終営業日の数値を使用しています。また、インデックスに関する情報はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・モニター各月末基準のレポートを参考にしています。インデックスはJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)です。コメント中のインデックスに関する騰落率は米ドルに対する変化となっています。

## 【2011年12月の市場環境動向】

12月の現地通貨建てエマージング債券市場は、休暇シーズンに入るにあたり、ここ数カ月とはやや異なり、価格変動は小さくなりました。欧州中央銀行(ECB、以下「ECB」といいます)がようやくソブリン債の利回り低下を促す姿勢を見せたことを材料に、月初リスク資産は上昇しました。しかし、負債に苦しむ南欧の緊縮財政政策が実施される中(EU条約変更についての議論も進行)、マリオ・ドラギECB総裁は、経済成長を支えるために欧州国債を購入するという要望を否定しました。この結果、ECBが0.25%の利下げを行い、銀行への無制限の資金供給期間を3年に引き伸ばした後でさえ、リスク資産は再び下落しました。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)は0.81%下落し、その内訳は通貨部分が-1.53%、債券部分がそれをやや埋め合わせ+0.72%となりました。通貨で最も大きく下落した国は、ハンガリー(-6.83%)、ロシア(-4.40%)、トルコ(-3.41%)でした。ハンガリー・フォリントは、格付け機関がソブリン債をハイ・イールド格に格下げし、国際通貨基金(IMF)との交渉は、オルバン首相が中央銀行の運営方針に対して賛否両論を巻き起こす新たな計画を提案したことで、行き詰まりました。一方、ロシア・ルーブルは、総選挙後の政治的緊張の高まりにより、資本流出への懸念が高まったことで圧力下に置かれました。エマージング市場の債券は今月も堅固でした。債券で大幅な動きを見せた国は、インドネシア(+4.06%)とハンガリー(-1.94%)でした。インドネシアの債券と通貨は、フィッチが、良好な政治環境、公的債務の少なさ、健全な銀行システムを理由に長期債を投資適格に格上げしたことにより堅調でした。

## 【2011年12月の運用状況と今後の見通し】

2012年は2011年と同様に、厳しい一年になると予想しています。中国、ドイツ、米国といった国の経済指標は予想を上回る形で2012年をスタートしましたが、多くの先進国及びエマージング諸国で、低成長の中でのリスク回避の高まり、財政引き締め、金融緩和といった状況にあります。欧州危機を取り巻く問題は、引き続き欧州の懸念事項となっており、ハンガリーやポーランドといった欧州周辺国の資金調達は困難をきたすと予想しています。取引の減少と銀行のレバレッジ解消のリスクから、多くのアジア市場にも緊張が広まっていくと考えています。一方で、米国の経済指標は上昇基調を辿っていることから、グローバルな経済成長の方向性は明らかに米国主導となっています。こうした環境では、米ドルは少なくとも良好な下支え要因があり、特に強固な貿易関係から利益を享受できるメキシコを始めとした、中南米経済は成長が期待できる地域であると考えています。米国と欧州の予想経済成長率の差を考えると、メキシコ・ペソなどの投資比率を高めたいと考えているエマージング通貨は、米ドルに対してではなく、ユーロに対して保有することも有効であると考えています。引き続き欧州危機の影響を受ける可能性のあるエマージング諸国、中でもトルコ、ポーランド、インドといった巨額の経常収支赤字を抱え、資金調達が必要な国では、投資比率を抑える方針です。

テクニカル面では、エマージング市場の利回りは2012年も低下すると考えています。ファンダメンタルズは、低経済成長という環境の中での利回り低下に向いていることから、短期債と金利スワップが堅調に推移すると予想しています。ブラジルなど一部の国はすでに金融緩和姿勢を見せ始めています。また、チリのように、まだ、金融緩和が見られない国でも利下げが価格に織り込まれていると見えています。しかし、経済の停滞が続く可能性が高いことから、多くのエマージング市場の中央銀行は更なる金融緩和を行うと予想しています。

## エマージング・カレンシー・債券ファンド(1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 5/7  
2011年12月30日現在

## 【投資リスク】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

\* 以下に記載するリスクおよび留意点は当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅しておりませんのでご注意ください。ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

## 1. 価格変動リスク(金利変動リスク)

当ファンドは、主として投資信託証券を通じて公社債に投資します。公社債の価格は、一般的には金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します。また発行体が財政難や経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた公社債の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

また当ファンドは、先進国の債券に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域の公社債を実質的な投資対象としますが、そうした公社債の価格は大きく変動することがあります。さらに流動性が低いため、想定する債券価格と乖離した価格で取引しなければならない場合などがあり、そうしたことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

## 2. 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。

また当ファンドは、先進国の金融商品市場に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域を実質的な投資対象としますが、そうした国・地域の為替相場は大きく変動することがあります。さらに、流動性が低いため、想定する為替レートと乖離したレートで取引を行わなければならない場合などがあり、それらのことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

## 3. カントリーリスク

当ファンドは、実質的に海外の資産に投資します。このため、投資対象国・地域の政治・経済、投資規制・通貨規制等の変化により、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は、先進国と比較して、一般的には経済基盤が脆弱であるため、経済状況等の悪化の影響が大きくなり、そのため金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。また政治不安などが金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。先進国と比較し、経済状況が大きく変動する可能性が高く、外部評価の悪化や経済危機等が起こりやすいリスクもあります。さらに大きな政策転換、規制の強化、政治体制の大きな変化、テロ事件などの非常事態により、金融商品市場や外国為替市場が著しい悪影響を被る可能性があります。自然災害の影響も大きく、より大きなカントリー・リスクを伴います。

## 4. 信用リスク

当ファンドは、実質的に組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化等により基準価額が影響を受け、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は先進国に比べ、発行者の経営・財務状況の急激な悪化や経営不安・破綻が起こりやすいリスクがあります。

## 5. その他

金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は受付を中止することや、あるいは既に受付けた注文を取消すことがありますのでご注意ください。

また投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。

## エマージング・カレンシー・債券ファンド(1年決算型)

追加型投信/海外/債券

月次レポート 6/7  
2011年12月30日現在

## 【お申込みメモ】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンド名	エマージング・カレンシー・債券ファンド(1年決算型)
商品分類	追加型投信/海外/債券
当初設定日	2008年9月30日(火)
信託期間	無期限とします。
決算日	原則として、毎年5月23日(休業日の場合は翌営業日)とします。
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入および換金のお申込みはできません。 ●ルクセンブルグの銀行休業日 ●ロンドンの銀行休業日 ●ニューヨークの銀行休業日
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付た分を当日のお申込み分とします。
購入・換金単位	販売会社が定める単位とします。
収益分配	年1回の決算時に、原則として収益の分配を行います。 ※分配金を受け取る「一般コース」と自動的に再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。なお、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額に、0.5%の率を乗じて得た額)を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して、7営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

## 【直接にご負担いただく費用】

購入時手数料	購入価額に3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

## 【信託財産で間接にご負担いただく費用】

運用管理費用 (信託報酬)等	純資産総額に対して年率1.955%程度(税込) *当ファンドの運用管理費用(信託報酬):年率1.155%(税抜1.10%)、投資先ファンドの運用管理費用(信託報酬):年率0.8%を合算したものがお客さまに実質的にご負担いただく費用の概算値です。
その他費用・手数料	当ファンドからは、財務諸表監査に関する費用等の諸費用、信託事務の処理に要する諸費用等、投資先ファンドからは保管報酬、事務処理に要する諸費用、組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料およびファンド設立費用等が支払われます。 ※「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

# エマージング・カレンシー・債券ファンド(1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

 月次レポート 7/7  
 2011年12月30日現在

## 【委託会社、その他関係法人】

委託会社	新生インベストメント・マネジメント株式会社(設定・運用等) 03-6880-6448(受付時間:営業日の9時~17時) ホームページアドレス:http://www.shinsei-investment.com/ 登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号 加入協会 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会 協会会員番号 第011-01067号
受託会社	株式会社りそな銀行(信託財産の管理等)
販売会社	下記参照(募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)

(2012年1月20日現在)

金融商品取引業者名(五十音順)		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○		○	
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第122号	○			
楽天銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第609号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。